

令和2年度指導計画（技術）

学番中等3 新潟県立燕中等教育学校

教科(科目)	技術	総時数	35 時間	学年(コース)	1 学年
使用教科書	東京書籍『新編 新しい技術・家庭 技術分野』				
副教材等	明治図書『技術家庭総合ノート 技術分野』				

1 学習目標

生活を楽しく豊かにしていくために必要な基礎的な技術や知識を習得する。

2 指導の重点

- ①木工を中心に、製品の設計から仕上げまでを学ぶ。
- ②金工で応用を学ぶ。

3 学習計画

月	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4 5	オリエンテーション 制作の前に		・一年間の授業の流れを把握する ・教室の機材について学ぶ ・木の性質について学ぶ ・製図について学ぶ	4	ワーク
5 6	棚を作る（木工）	製品の設計	・材料を観察する ・けがき	6	作品
6 7 8 9		製品の設計	・のこぎりの使い方 ・げんのうの使い方 ・材料の加工	7	作品
9 10 11	棚を作る（木工）	製品の製作	・組み立て	7	作品 テスト
11	チリトリを作る（金工）	作品の制作	・けがき	3	作品
12 1	チリトリを作る（金工）	作品の制作	・加工 ・組立て	4	作品
2 3	チリトリを作る（金工）		・みがき	4	作品 テスト

計35時間（50分授業）

4 課題・提出物等

作品、テスト、ワーク

5 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。

（関心・意欲・態度）	（思考・判断・表現）（技能）		（知識・理解）
生活で使うものや、製作への関心意欲態度	製作の工夫・創造	工具を扱う技能	技術の知識、理解
・日常生活で身の回りで使われている製品に対する興味・関心・自分の製作への意欲をもっている。	・実際に使う製品として、機能、使いやすさなどを工夫して作っている。	・のこぎり、げんのうなどの使い方が正確にできる。	・製図、材料について理解している。
以上の観点を踏まえ、 ・作品、テスト、ワーク などから、総合的に評価します。			

6 担当者からの一言

一年生の技術は、物作りを中心に行います。前半は木工で棚作り、後半は金工でちりとり作りになります。様々な工具を使いますが、一つずつ扱い方を覚えながら、けがや事故のないように作業していきましょう。自分の作った製品を生活の中で使うという経験も貴重なものだと思います。使いたいと思える物がしあがるよう、気持ちを込めて制作してください。

(担当：金子)